

小山市長 令和5年4月 定例記者会見

日時：令和5年4月17日（月）

14：00～

会場：6階 大会議室a b

1 開会

2 市長あいさつ

3 市長発表内容

- (1) コウノトリ4年連続ヒナ誕生について
- (2) おやまサマーフェスティバル2023の開催と花火協賛者の募集について
- (3) 生涯学習センターリニューアル記念
「書と音楽と学びのアートウイーク」開催について

4 部長発表内容

- (1) 第20回Oyamaインターナショナルフェスティバル2023の開催について
- (2) 外国人ふれあい子育てサロンの英語相談員の増員について
- (3) 電動式生ごみ処理機の補助額の引き上げについて
- (4) 第78回企画展「小山評定とその時代の軍装
～伊澤昭二コレクションを中心に～」の開催について
- (5) 第56回企画展「廣澤美術館コレクション 横山大観一心で描いた風景」
について

5 質疑応答

6 閉会

記者会見資料

総合政策部 自然共生課

1. 件 名

コウノトリ4年連続ヒナ誕生について

2. 内 容

小山市ではラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」の「保全」と「賢明な利用」のため、コウノトリをシンボルとした貴重な湿地環境の保全と地域の活性化に取り組んでいます。

小山市の渡良瀬遊水地第2調節池では、今年、4年連続でコウノトリが野外繁殖をしています。地域住民、市民団体、渡良瀬遊水地周辺自治体、専門機関との連携・協働により、関東での個体群形成に向けて、生息環境整備をはじめとする各種取組を推進していきます。

3. 今年、誕生したヒナに関して

(1) 巣立ちまでの目安

4月17日(月)現在、2羽のヒナの順調な成長を確認

ヒナへの足環装着 誕生後41日から44日ころ(5月中旬)

ヒナの巣立ち 誕生後、57日から82日かかる見込み(6月上～下旬)

(2) ヒナの愛称命名

ウェブ投票 4月6日(木)～4月28日(金)まで実施中

最多得票となった愛称を、足環装着時の性別判定を踏まえて決定

愛称命名式 5月下旬～6月上旬(予定)

※愛称候補は、渡良瀬遊水地周辺自治体の小学校から選定

(3) 記念事業

5月14日(日)10:00～15:00 ワタラセコウノトリマルシェ

会場①AP3らくもち製作所(旧JAおやま生井支店、大字生良967-1)

②渡良瀬遊水地コウノトリ交流館(大字下生井865-1)

内容：キッチンカーはじめ市内外から飲食店の出店や楽しいイベント、

コウノトリに関連商品でコウノトリの誕生を祝います。

主催：株式会社のうらく、渡良瀬遊水地コウノトリ交流館

4. 各種取組

(1) 新たに始める取組

- ・コウノトリ観察ガイド

ヒナ誕生に伴い、現地を訪れる多くの方々に対して、コウノトリの生態を伝え、情報発信拠点施設「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館」へ誘うガイドの育成を始めています。

※土日祝日、9：00～17：00ころ、コウノトリ観察小屋付近

(2) 渡良瀬遊水地コウノトリ・トキ定着推進協議会

- ・コウノトリ見守りボランティア
- ・水田ビオトープ
- ・コウノトリファンサイト

※サントリー世界愛鳥基金の助成を受けて実施

(3) 全国各地との子どもの学習交流

- ・兵庫県豊岡市（コウノトリ、ラムサール条約でのつながり）
 - ・徳島県鳴門市（コウノトリ「歌」とのつながり）
- ほか

記者会見資料

産業観光部 商業観光課

1. 件 名

おやまサマーフェスティバル2023の開催と花火協賛者の募集について

2. 趣 旨

市民の郷土意識を高めるとともに市内外へ小山市を広く周知し、商工業の活性化や観光振興に寄与することを目的とした、おやまサマーフェスティバル2023「天に願いを 希望の花火！～again～」を下記の通り開催します。

3. 内 容

おやまサマーフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、中止や分散型での花火の打上が続いておりましたが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症が5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行されること等を総合的に考慮し、4年振りとなる思川河畔での開催が決定されました。

なお、オープニングカーニバルとして実施していた各種イベントについては、実施の可否等について引き続き検討を進めてまいります。

- (1) 日時 7月30日（日） 19：10～
雨天決行（荒天時は翌日31日（月）以降に順延）
- (2) 会場 思川河畔 観覧橋下流

4. 主 催

おやまサマーフェスティバル2023実行委員会

5. その他

(1) 花火協賛者の募集について

- ア 企業協賛 銀行振込または実行委員による訪問受付。
5月31日（水）まで。
- イ 個人協賛 一口2,000円。
商業観光課、小山市観光協会、小山商工会議所、
小山市おもいがわ商工会本所・支所、市内各出張所にて受付。
5月31日（水）まで。

(2) 有料観覧席の販売について

6月中旬頃からの販売を予定しています。

※花火大会の詳細については、決定次第、順次お知らせいたします。

※周知については、花火小冊子の広報折込みによる全戸配布や公共施設等へのポスター貼付のほか、市役所1階ロビーでの花火筒及び花火玉の展示等を行います。

記者会見資料

教育委員会 生涯学習課

1. 件 名

生涯学習センターリニューアル記念
「書と音楽と学びのアートウィーク」開催について

2. 趣 旨

令和5（2023）年度から小山市立生涯学習センターを指定管理から市職員による運営に変更し、市民協働の生涯学習を推進してまいります。このたび、そのリニューアル記念事業として、下記のとおり「書と音楽と学びのアートウィーク」を開催するものです。

3. 内 容

- (1) 書道家・墨象家（ぼくしょうか） 古川司裕（ふるかわしゆう）氏 墨展
5月12日（金）～16日（火） 9：00～17：00
生涯学習センター ギャラリー （中央町3-7-1 ロブレ6階）
観覧無料
- (2) 書道家・墨象家 古川司裕 氏 “表現”を知るワークショップ
5月14日（日）10：00～12：00
生涯学習センター ホールほか
定員：参加・観覧（見学）ともに各々15名 参加無料
※小山高等学校書道部の生徒も参加
- (3) MCFオーケストラとちぎマリンバ・パーカッションアンサンブルコンサート
演奏：小山市出身 岩下美香 氏 他2名
5月13日（土） 開場 13：00 開演 14：00
生涯学習センター ホール
定員：130人 観覧無料
- (4) 第1回生涯学習フォーラム
5月14日（日） 開場 13：30 開始 14：00
生涯学習センター ホール
ファシリテータ：宇都宮共和大学教授 陣内雄次 氏
定員：30人 参加無料

4. その他 詳細は別添チラシのとおり

記者会見資料

市民生活部 国際政策課

1. 件 名

第20回Oyama国際ナショナルフェスティバル2023の開催について

2. 要 旨

市民の異文化理解を促進し、外国人と日本人との交流を目的として、さまざまな国の文化を紹介するイベントを開催します。

3. 日時・会場

5月27日（土） 13:00～16:30

文化センター小ホール、中央公民館

4. 主な内容

- (1) 世界各国のパフォーマンス（演奏、踊り、民族衣装ショー等）
- (2) 文化理解を深める展示、物産販売ブース
- (3) 文化体験コーナー
- (4) 外国人向け相談窓口
（東京出入国在留管理局による、在留資格、法律相談等を予定）

5. 定 員

200人程度

6. 料 金

入場無料 ※販売ブースでの物品購入は有料

7. 出場国・地域

韓国、ブラジル、ペルー、ネパール、デンマーク他

記者会見資料

市民生活部 国際政策課

1. 件 名

外国人ふれあい子育てサロンの英語相談員の増員について

2. 要 旨

市から小山市国際交流協会への委託事業である「外国人ふれあい子育てサロン」において、4月1日から、英語に対応できる相談員1名を新たに配置しました。

外国人ふれあい子育てサロンとは、多文化共生の推進に係る取り組みの一環として、外国人の子育てを支援するため、相談対応や親子で参加できるイベントの実施、外国語版情報誌「イホス」、「フィリョス」の発行等を行っています。

これまでは相談員1名がスペイン語及びポルトガル語に対応していましたが、外国人の国籍現況や学校等からの要望を鑑み、英語に対応することで、外国人子育て支援のさらなる充実を図ります。

3. 場所・開設日時

小山市国際交流協会事務所内

(中央町2-2-21 旧保健・福祉センター1階)

月曜日～金曜日(土日・祝日を除く) 8:30～17:15

※イベントは市内公共施設で随時実施します。

4. 期待される効果

- (1) 市内在住外国人の約3割を占める英語圏国籍者(フィリピン、パキスタン、インド等)の相談に対応できるようになります。
- (2) 毎月発行する情報誌について、スペイン語とポルトガル語版に加えて英語版を発行し、より多くの外国人に、福祉、教育、育児に関する情報を届けます。
- (3) イベント等に参加する者の国籍が多様化すると見込まれることから、交流が一層促進されます。

5. その他

本件は内閣府・厚生労働省所管の「子ども子育て支援交付金」を活用して運営する事業です。

記者会見資料

市民生活部 環境課

1. 件 名

電動式生ごみ処理機の補助額の引き上げについて

2. 要 旨

現在、小山市では、可燃ごみの減量化に向けた様々な施策を進めておりますが、その一環として、令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間に限り、一般家庭における生ごみの大幅な減量化が期待できる電動式生ごみ処理機の購入について補助額を増額することといたしましたので、ご案内いたします。

市民の皆さまには、ぜひこの機会に、生ごみ処理機のご購入を検討いただき、ごみの減量化にお力添え願えればと考えております。

3. 内 容

(1) 対象者 生ごみ処理機を購入した市民

※ただし、3年以内に小山市家庭廃棄物処理機器設置費補助金を受けていない方

(2) 対象機器及び補助額

○電動式生ごみ処理機・・・購入金額の7/10（上限60,000円）

※参考：令和4年度まで 購入金額の1/2（上限30,000円）

※生ごみをたい肥化又は減量化する電動式機器のこと

※ディスポーザー方式は除く

○コンポスト等・・・・・・購入金額の1/2（上限6,000円）

※生ごみをたい肥化する容器

※補助額は従来通り

(3) 申請方法 次の必要書類を、環境課に直接または郵送にて提出

①申請書兼請求書

②領収書の写し（購入者氏名、金額、但書の入っているもの。レシート不可）

③保証書の写し（電動式の購入者のみ。製造番号のわかるもの）

4. 添付資料

「令和5・6年度 生ごみ処理機設置費補助金のご案内」を参照ください。

記者会見資料

教育委員会 博物館

1. 件 名

第78回企画展「小山評定とその時代の軍装～伊澤昭二コレクションを中心に～」の開催について

2. 内 容

慶長5(1600)年7月、上方で石田三成らが挙兵したとの報を受け、徳川家康は会津攻めに進軍途中の諸将を小山に集めました。そこで会津攻めを中止、反転して上方へ向かうことが決定されます。これが世に言う「小山評定」です。

小山市立博物館ではこの度、市内出身の甲冑研究家・伊澤昭二氏(小山評定ふるさと大使)の所蔵品を中心に、「小山評定」から関ヶ原合戦に由緒を持つ甲冑や刀剣などの展覧会を開催いたします。

江戸時代300年の幕開けの時代に使用された貴重な武具の数々を通じて、小山の名を歴史に残した「小山評定」へ思いをはせていただければ幸いです。

3. おもな展示資料

- ・徳川家や家康に関わる資料…^{あおいもんぬいとり}葵 紋 繡 ^{かっちゅうこてきれじ}甲冑籠手裂地(徳川家康所用)等
- ・家康の家臣に関わる資料…^{ぎんぱくおしにまいほとけどうぐそく}銀箔押二枚仏胴具足(加藤嘉明所用)等
- ・西軍の諸将に関わる資料…^{とうかんなりかぶと}唐冠形 兜 (毛利輝元所用)等
- ・戦国期に使用された刀剣…^{かたな めい なんきにおいてしげくにこれをつくる こしらえつき}刀 銘 於南紀重国造之 拵 付 (徳川頼宣所持)等

4. 記念事業

- ・記念講演会「小山評定とその時代の軍装」(講師：伊澤昭二氏)
日時：5月14日(日) 13:30～15:00
- ・関連講座「甲冑を着てみよう」
日時：(1日目) 4月30日(日) 13:30～
(2日目) 5月28日(日) 13:30～

5. 会 期

4月22日(土)～6月11日(日)
休館日：毎週月曜日(祝祭日を除く)、第4金曜日、祝日の翌日(祝祭日を除く)

6. 入館料

大人：200円、大学・高校生：100円、中学生以下：無料
無料公開日：5月5日(金)、5月18日(木)、6月10日(土)、6月11日(日)

記者会見資料

教育委員会 車屋美術館

1. 件 名

第56回企画展「廣澤美術館コレクション 横山大観一心で描いた風景」について

2. 要 旨

横山大観（1868～1958）は東京美術学校第一回生として卒業後、日本美術院設立に参加、そして再興の中心となり、最初の文化勲章受章者となるなど、近代日本画の発展に大きく貢献しました。またその過程では、朦朧体や水墨画などの光と空気を表現するための様々な技法を試みました。

本展では、茨城県筑西市の廣澤美術館所蔵作品から、横山大観の富士山をはじめとする、主に風景を描いた作品約26点を紹介します。彼の言葉に「絵は何処までも心で描かねばならぬ」とあるように、そこには大観が心に描いた理想の自然の姿を見ることができます。明治期後半から晩年である昭和期前半まで、大観の画業の一端に触れるとともに、近代日本画の流れについて再認識する機会を創出することをねらいとします。

3. 内 容

- | | |
|----------|--|
| (1) 開催期間 | 4月22日(土)～6月18日(日) |
| (2) 開館時間 | 9：00～17：00（入館は16：30まで） |
| (3) 休館日 | 月曜日、第4金曜日（4月28日、5月26日） |
| (4) 入館料 | 一般400（団体300）円
大学・高校生250（団体150）円
中学生・義務教育学校生以下無料 |
| (5) 会 場 | 車屋美術館 企画展示室（乙女3-10-34） |
| (6) 特 徴 | 廣澤美術館から多数の大観作品を展示するのは県内初であり、彼の画業の前半期から晩年までの画風の展開を間近で鑑賞できる貴重な機会 |

4. その他

- ・企画展チラシ及び車屋美術館HPをご参照ください。
- ・国登録有形文化財「小川家住宅」も併せて公開しております。